

平成17年度事業報告及び収支報告

(H17.4.1～H18.3.31)

平成17年度事業報告

【年間活動テーマ】

厳しい社会情勢の中、現在の会員の維持と新規会員の開拓を目指しました。視察会や講習会は本年度のアンケートでテーマの要望を募るなど、参加者増加を目指し、各イベントを参加しやすいテーマ設定を心掛けました。また、住まい・まちづくり活動が社会的に幅広い分野で展開していることを踏まえ、関連する多様な分野にも積極的に声をかけました。

【協議会体制】

正会員は、1社の退会、2社の入会があり、26正会員(平成18年3月31日時点)となっています。

顧問は、昨年度と変わらず24名です。顧問の先生に対しては、適宜メーリングリストにて活動情報の提供を行っています。

新規顧問

なし

退会

(株)久米設計名古屋支社

入会

(株)都市造形研究所

(株)ニュージェック

【事業内容】

1. 協議会を取り巻くニーズ把握と運営改善策の検討

今期の運営委員会では、今後より一層の参加企業の拡大、協議会活動の活性化を図ることを目的に、会員の皆様の愛知まちコンに対する考え方やニーズを把握のための会員アンケートを行いました。平成17年8月29日にアンケート調査票の送付を行い、会員25社(送付時現在)中24社からの回答を得ました。(詳細につきましては、別紙「会員アンケート集計結果」をご覧ください。)

愛知まちコンの役割については、コンサルタントの地位向上にむけた住まい・まちづくり関係者との情報交流や、コンサルタントに関わる職能の広報および活動の情報提供の回答が多かったため、会員企業の広報を目的とし、交流会、シンポジウム、視察会のチラシに会員企業の企業名を掲載することにしました。

また、交流会、シンポジウム、視察会のテーマにつきましても様々なご意見をいただき、その中で平成18年度の視察会については、アンケート結果を反映し視察先(近江八幡)を決定しました。

2. 春の総会および記念講演の開催

平成 17 年 5 月 19 日に、(財)名古屋都市センター第 3、4 会議室にて平成 17 年度総会を開催しました。総会は正会員 20 社（うち委任状 6 社）、来賓（愛知県建設部住宅企画課主幹）他、全体で 31 名の出席があり、平成 16 年度事業報告及び収支報告、平成 17 年度の事業計画（案）および収支予算（案）、役員を選出を行いました。また、記念講演として社会福祉法人 愛知たいようの杜理事長吉田一平氏をお招きし、「ゴジカラ村のまちづくり」と題して記念講演を開催しました。

3. 平成 17 年度公開シンポジウムの開催

平成 17 年 12 月 8 日、(財)名古屋都市センター大研修室にて『2007 年問題とまちづくり - 団塊世代の大量退職がまちづくりをどう変えるか -』と題した公開シンポジウムを開催しました。(財)名古屋都市センターとの共催で、愛知県、名古屋市から後援をいただき、会員や県下市町村職員の方々をはじめ、約 70 名の参加がありました。

シンポジウムでは、慶応義塾大学商学部教授の樋口美雄氏に「2007 年問題が地域社会に及ぼす影響」と題して基調講演をしてもらったのち、まちづくりの担い手育成の取り組みの事例報告として桑名市の「まちづくりブックの取り組み」と日進市の「まちづくりの根っこ探し - 日進一歩 - の取り組み」について報告いただきました。その後、パネラーに事例報告の 2 人のほか、退職後まちづくりの実践に取り組んでおられる佐藤允孝氏（揚輝荘の会事務局長）、中井保三氏（大高まちづくり協議会）、コメンテーターに樋口氏をお願いし、当協議会の今村敏雄運営委員のコーディネーターによってパネルディスカッションを行いました。

2007 年度問題の意味を考えるとともに、この機会をまちづくりに活かすためにはどうすればよいかを考える場とすることができました。

4. メーリングリストによる情報交換及び、リストの更新

メーリングリストには、平成 17 年 4 月現在で会員・顧問 84 アドレスの登録があります。利用方法としては事務局からの報告（運営委員会や交流会など）や参加確認などの連絡のほか、会員や顧問からの情報提供に利用されました。

5. 交流会の開催による会員間の情報交換

会員間の情報交換の場として下表のように4回の交流会を開催しました。会は運営委員が持ち回りで企画等を担当したことによって、様々な方法での交流を図ることができました。

月 日	場 所	内 容	参加人数
4月12日	三重県二見町・伊勢市	「二見浦旅館街と伊勢河崎のまちづくり」視察研修 【時間】7:50~18:20	21名
7月22日	ささしまライブ24地区	「ささしまライブ24地区の目指すまちづくりと今後の課題」 【時間】15:00~17:30 ・ 柴田龍弘氏（名古屋市住宅都市局ささしまライブ24総合整備事務所調査設計係長）による概要説明 ・ 伊藤 修氏（東急不動産(株)都市事業本部商業施設開発部事業企画グループ課長）によるデ・ラ・ファンタジアの概要説明 ・ 懇親会	会員16名
10月6日	久屋大通公園北側、金刀比羅神社・社務所	「名古屋芸術の杜 魅力再発見ワークショップ」 【時間】14:00~17:00 ・ 3グループに分かれての「名古屋芸術の杜」地区の魅力さがし ・ グループ内でのディスカッション、提案作成 ・ グループ発表 ・ 意見交換	会員16名 つくる会11名 その他1名
2月28日	(財)名古屋都市センター 第3・4会議室	「実践! アートマネジメントのまちづくり~アートをまちづくりに生かすには~」 【時間】18:30~20:45 ・ 川本直義氏（(株)エルイー創造研究所 取締役主任研究員）による「やまのて音楽祭」他の事例報告 ・ 星野 博氏（NPO 法人志民連いちのみや 理事長）による講演「まつりづくりがまちづくり」杜の宮市 ・ 質疑応答 ・ 懇親会	32名

6. 運営委員会

およそ月1回のペースで、全11回の運営委員会を開催しました。

運営委員会の開催日程と議題

2005年 4月7日	運営委員会。4月視察会の企画、平成17年度総会・記念講演の企画。
5月10日	運営委員会。総会に向けた準備、役割分担。次年度運営方針、運営体制、予算計画など5月総会議案。
6月7日	運営委員会。活動方針・テーマ、交流会等のスケジュール、7月交流会の企画。
7月5日	運営委員会。7月交流会の役割分担、10月交流会の企画、12月公開シンポジウムの企画、会員アンケートの検討。
8月2日	運営委員会。10月交流会の企画、12月公開シンポジウムの企画、会員アンケートの検討。
9月9日	運営委員会。10月交流会の最終調整、12月公開シンポジウムの企画、会員アンケート結果報告と今後の運営の検討。
10月14日	拡大運営委員会。 12月公開シンポジウムの企画、会員アンケート結果報告と今後の運営の検討。
11月1日	運営委員会。12月公開シンポジウムの役割分担、2月の交流会の企画。
12月27日	運営委員会。2月交流会の企画。
2006年 2月7日	運営委員会。2月交流会の役割分担、4月視察会の企画。
3月8日	運営委員会。4月視察会の企画、平成18年度総会・記念講演の企画、日程調整。

7. ホームページの充実

5月10日時点でのアクセス数はホームページ開設以来16,797件であり、1年間で3,945件（前年度3,212件）のアクセス数がありました。

図書紹介やまちづくり面白講座については、各会員の協力を仰いで資料の拡充を図ったものの、協力件数が少なくなりつつあり、HPの更新が滞り気味となってしまいました。HPの定期的な更新を図るためにどのような対策をとるかという課題が残りました。

交流会等の協議会活動については、参加者に活動報告書の作成をお願いし、写真等とともに掲載してきました。

新たに、これまで視察会や交流会でお世話になった場所や団体に関連するホームページへのリンクを設定しました。

8. まちコンPRリーフレットの作成

昨年度事業計画(案)においてリーフレットの見直しと増刷およびPRを行うことにしていましたが、十分に行えませんでした。内容の更新のみ行い、交流会、シンポジウムで配布しました。

9. 「U-34」の支援

昨年度に引き続き「U-34」の活動支援として、U-34が開催している勉強会に対して勉強会運営費の援助を行う体制をとっていましたが、今年度全4回の活動のうち、運営費を伴うものがなかったため、具体的な支援は行いませんでした。新たなU-34の参加者確保のため、勉強会の開催告知については、今まで独自で運営していたメーリングリストだけではなく、愛知まちコン本体のメーリングリストにも流すこととなりました。